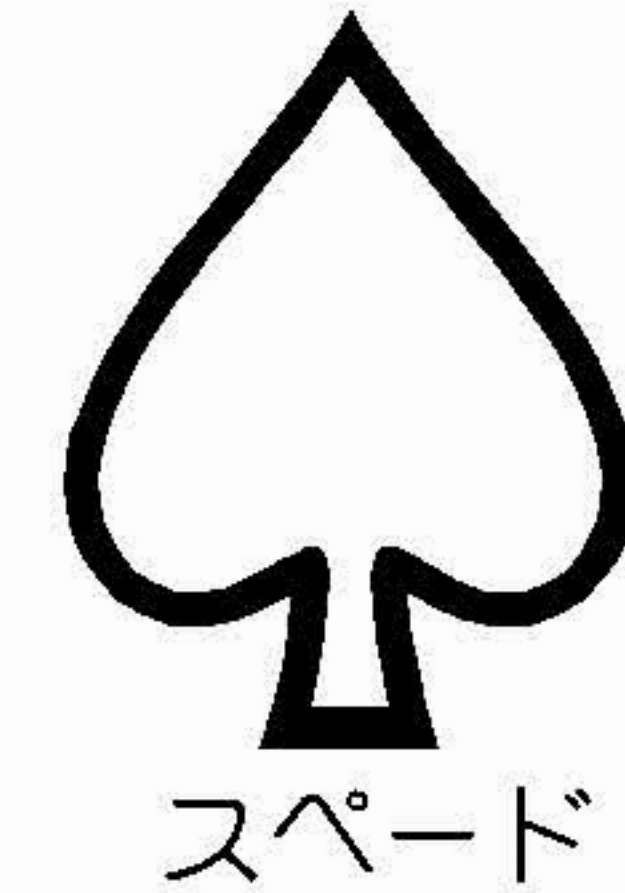


コハコベ (小繁縷)

名前の意味^{いみ}：小さなハコベの意味。昔から日本に生えていたミドリハコベに比べて小さいから。

分類：双子葉類、ナデシコ科、ハコベ属

(ナデシコ科の栽培植物^{さいばいしょくぶつ}：カーネーション、カスミソウ)



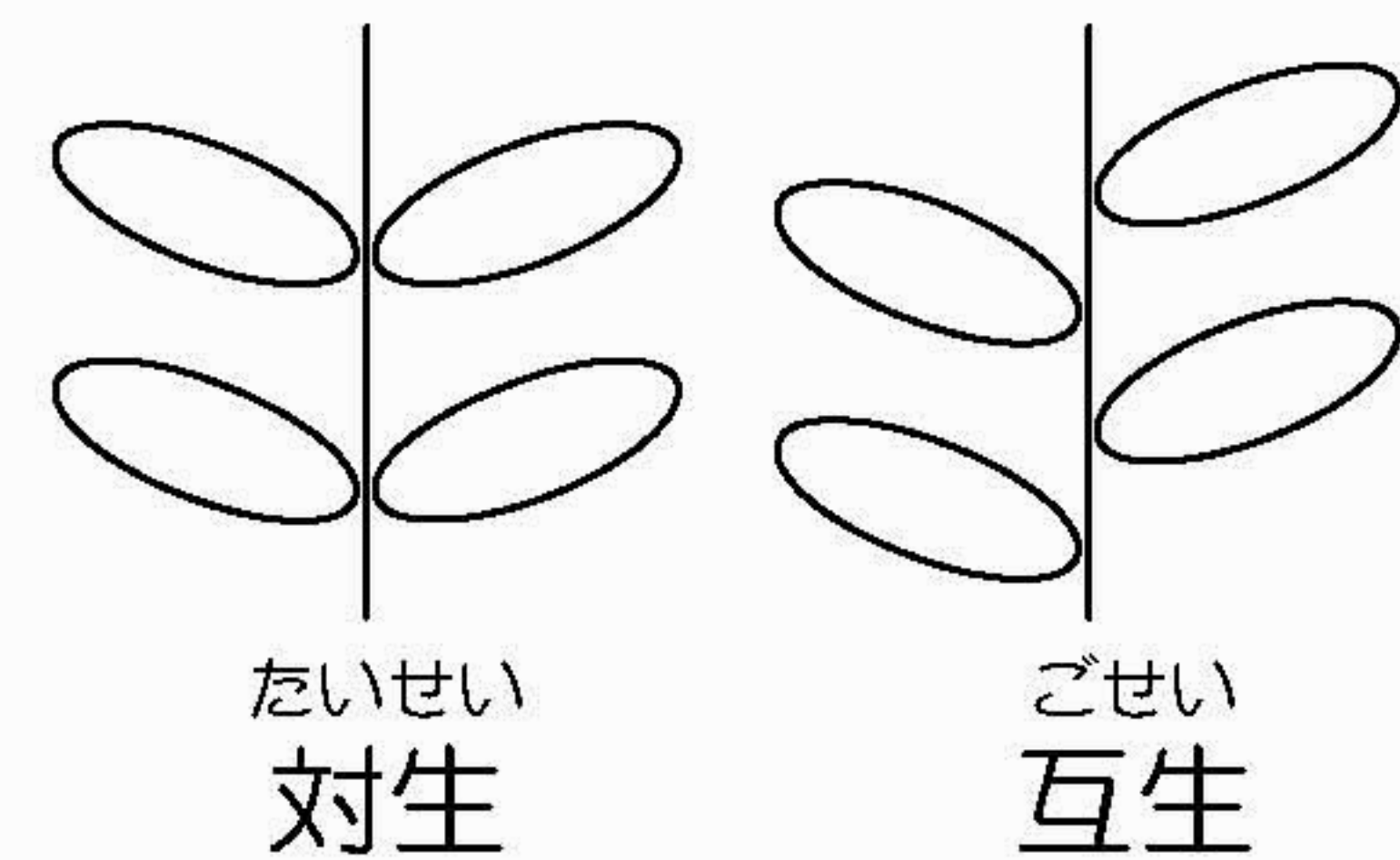
好きな場所：日当たりのよい道ばた、畑、庭

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：ユーラシア

特徴：地面をほう^{くき}茎、対生^{たいせい}する葉。下の

ほうの葉はスペード形。小さな白い花。



種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数^{りべん}：離弁、5枚（深く切れ込んで10枚に見える）

花の時期：4—6月

見分け方：イヌコハコベには、花弁がない。ウシハコベは、全体が大きくて、茎が立つ。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★

総合難易度^{そうごうなんいど} ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)